

2026年度 海南医療センター勤務者負担軽減計画

勤務状況等 ・病床数 : 146床 ・医師数 : 24名 ・平均当直回数 : 2.5回／月（当直医 12名）	取り組み及び目標 ・チーム医療、業務分担を推進し病院勤務者の負担軽減を目指す。 ・地域医療構想から当院の役割を勘案し、実情から計画を見直していく。 ・臨床研修センター担当医と協力し、新専門医制度等を活用することで正規雇用医師の増員を目指す。 ・開業医など院外の医師にも広く協力を呼びかけ勤務医の負担軽減を図っていく。
--	---

勤務者負担軽減の評価体制 ・勤務者負担軽減対策委員会(委員長:院長 委員:副院長、診療局長、看護部長、事務長等)を設置する。 ・6ヶ月に1回、勤務者負担軽減対策委員会を開催し、負担軽減の成果や計画の達成状況の評価及び計画見直しを行う。
--

No.	現状・問題点	対応方針	具体的な取り組み内容	達成状況	
				2026.9	2027.3
1	事務作業や感染対応の増加により、医師の負担が増加している	医師以外でも実施可能な業務の見直しを行う	初診時の予診と内容の代行入力を医師事務作業補助者で行う		
			静脈採血の実施を中央検査室で行い、看護師・検査技師による静脈採血を行う		
			入院案内を事務職員が総合受付で行う案内用ビデオの修正を行う		
			検査等説明の標準化を行い、実施を、看護師、医師事務作業補助者ができるよう検討する		
			薬剤師による服薬指導を増やす事で医師の負担軽減を行う		
			重症患者に対する支援を充実し、病状説明などの医師負担の軽減を図る		

No.	現状問題点	対応方針	具体的な取り組み内容	達成状況	
				2026.9	2027.3
2	診断書等、文書の依頼が増加しており、医師の業務が増加している	医師事務作業補助者の知識を向上し、医師への確認を減少させる	医師事務作業補助者のスキル向上のため、定期的に勉強会を開催する		
3	医師の当直業務における負担が増加している	勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の構築を行う	医師の当直スケジュール作成時に連続当直とならないよう作成する		
		当直翌日の業務内容を軽減する	医師当直の翌日午後には代休の取得を奨励する。(翌日の午後には取得が不可の場合、翌日以降2週間以内を目処に取得)		
4	入退院患者の増加により、看護師の負担が増加している	業務分担や業務手順の見直しを行い、看護師の負担軽減を図る	看護師・アシスタントの人員を安定的に確保し、前残業廃止や勤務間インターバル(11時間以上)確保、多様な時差出勤パターンを導入し、業務量に応じた柔軟な勤務体制を整える		
			ICT(ipad)を活用した患者説明コンテンツを拡充し、説明業務の標準化を図る		
			PNSの成熟を促進するとともに、部署間の業務共有の強化を行い、繁忙時間帯における協力・応援体制を整える		
			ライフステージに応じた個別支援や長期休暇の計画的な取得を促進し、仕事とプライベートの両立を支援する		
5	入院患者の高齢化により在宅復帰が困難になっている	入退院支援業務の強化と当該地域の施設や医療機関との連携を強化する	入院が長期化する傾向にある疾患について要因分析を行い、可能な限り早期からの退院支援を進める		
		高齢者へのケアの充実を図る	アシスタントを対象としたラダーを本格導入し、育成環境を整えることで、看護師からアシスタントへのタスクシフトを計画的に進める		